

相談室だより (みさき・くろさき 2011年01月)

担当：みさき病院 MSW 三宅

発行が遅くなり申し訳ありません (T_T)/
今回は、みさき病院での
物忘れ外来の現状報告です。



インテーク面接 みさき病院では、物忘れ外来初診の患者様へ地域連携室スタッフでインテーク面接として、生活状況や家族構成、サービスの利用状況などの情報収集を行うために、ご家族や施設関係者と面接をおこなっています。

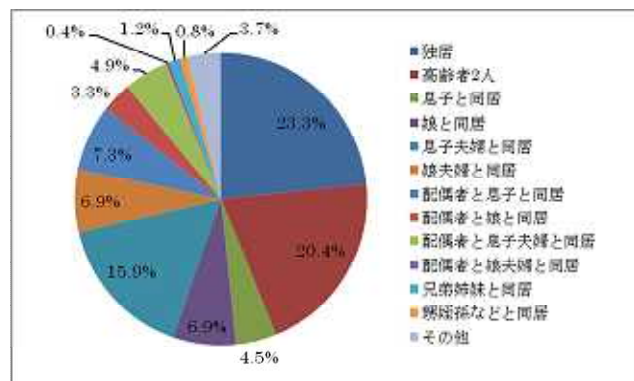
家族構成

独居 23.3%、高齢者2人 20.4%、息子夫婦と同居 15.9%の順となっている。

主たる介護者としては、娘 22.4%、息子の妻 15.9%、息子 12.2%、妻 10.6%、夫 9.8%となっている。

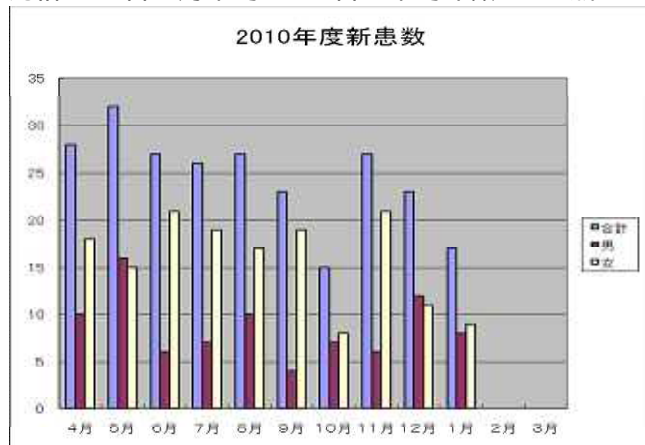
統計 インテーク面接で収集した情報から、統計を毎月とっています。そこで、今回は、統計からみた「物忘れ外来の現状」をご報告させていただきます。

('10年4月～'11年1月末日までの統計)



新患数

総計 245名 月平均 24.5名 平均年齢 81.9歳



住所

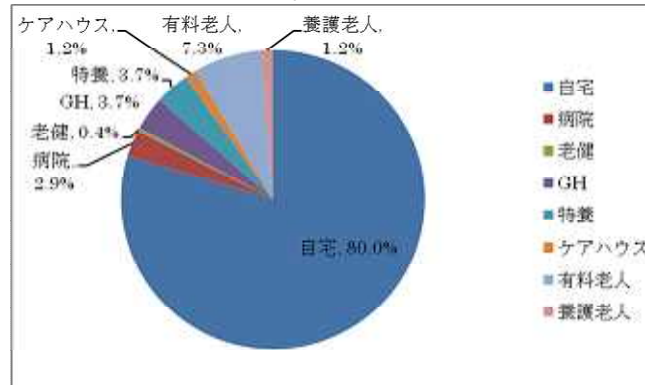
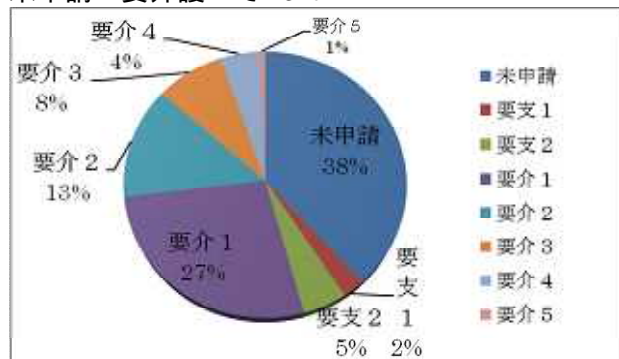
受診患者様の住居地は、大牟田 40.8%、柳川 24.5%、みやま 18.8%、荒尾 5.3%、南関 3.3%となっており、遠方では久留米、大分からの来院もある。

生活の場

初診時の生活状況は、自宅が 80%、有料老人ホームが 8.3%、特養とグループホームがそれぞれ 3.7%であった。また、他院入院中の患者様の受診のケースが7件あった。

介護保険

未申請～要介護1で73%



(裏面へ続く・・・)

紹介経路

紹介経路は、医療機関が 61.2%と最も多く、紹介経路なしや知人などの口コミでの受診ケースは 25%となっている。

紹介元

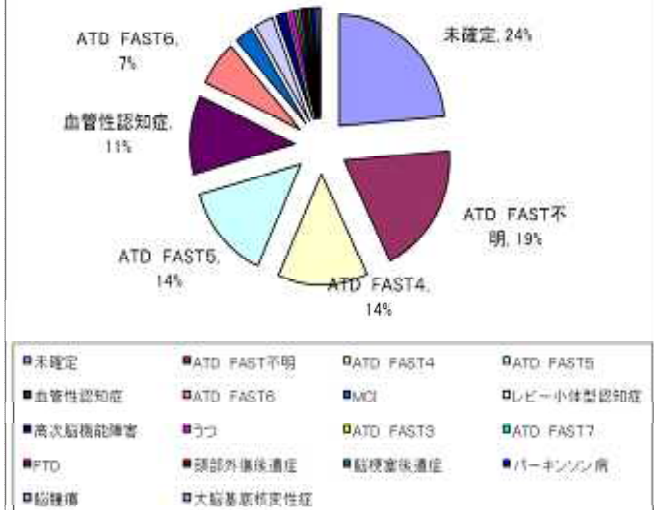
医療機関からの紹介は総計 69 件の病院、診療所からの紹介となっており、米の山 9.2%、長田病院 7.8%、きくち胃腸科内科クリニック 3.9%、中友診療所 3.3%の順となっている。

診断病名

初診時診断病名としては、診断未確定、アルツハイマー型認知症（FAST 不明）、アルツハイマー型認知症（FAST4）、アルツハイマー型認知症（FAST5）、血管性認知症の順となっている。

1 例ではあるが、脳腫瘍の患者様も来院されている。

初診時診断病名



～ 考 察 ～

みさき病院物忘れ外来へ受診される患者様は、統計結果から 80 代前後で、自宅で独居または高齢者夫婦のみの世帯で生活の方が多く、介護保険等のサービスについても制度をあまり知らなかったり、介護度が軽度の方が多くことがわかります。

そして、診断結果としては、アルツハイマー型認知症（FAST4～5）の方の受診が多い状況となっています。住居地も大牟田市から近隣の市まで診療圏が広がっており、紹介していただく医療機関も年々増加傾向にあります。この状況は、地域からの認知症医療に対する期待が増加しているのではないかと思います。

我々MSWの関わりは、診察前のインテーク面接から始まり、受診後に介護保険の申請援助や、地域包括支援センターや施設職員・担当ケアマネージャーと連携し継続した対応を実施しています。

それから、初診の時点で、自宅での対応が困難な状況で、緊急的対応が必要であったり、行政や警察からの相談があることもあり、他院への入院調整等も実施しています。

また、生活の場を理解するためにも自宅訪問を実施していますが、診療圏が拡大していくことで、地域の社会資源等の把握が足りないことが課題です。

地域によっては、残念なことに「認知症」＝「地域でのやっかいもの扱い」にされていることを、受診されたご家族から伺うこともありました。そのため、地域への啓蒙活動や地域で見守るシステムづくりへの参加の必要性を強く感じています。

このような地域のニーズに根ざした医療実践を数多くの医療者特に、医学生に知ってもらいたいと思っています。そこで、佐賀大学への訪問・ランチョンセミナーを来年度は実施したいと思っています。

～ おしらせ伝言板 ～

地域安心安全情報共有システム「愛情ネット」をご存知ですか？

大牟田市での防犯や防災、市役所からのお知らせをメールで配信されています。

配信区分：防犯・防災・生活関連・福祉関連・健康関連・学習・観光・イベント・徘徊行方不明者

アクセス方法：携帯電話からは、<http://ai-jo.net/Community/mobile/>

注) パケット通信料がかかります。